

**札幌市公式ホームページリニューアルプロジェクト支援業務
公募型企画競争に係る質問及び回答**

番号	質 問	回 答
1	仕様書「5 業務内容 (1) 現行市公式ホームページの解析」について、参考資料として挙げられている「別紙2」の解析項目は、本業務においても必須でしょうか。	必須ではありません。
2	仕様書「5 業務内容 (1) 現行市公式ホームページの解析」について、貴市にて想定されている解析項目をご教示ください。 また、解析内容が変わり 2021 年度からの継続性が損なわれる可能性がある点について、本調達の評価に影響がございましたでしょうか。	ページ数、ファイル数のほか、ユーザビリティやアクセシビリティの観点からリニューアルに向けて改善すべき項目やその量などが把握できる項目と想定していますが、本業務の実施及び効果的なリニューアルに必要と考える解析項目としてください。 また、これまでの解析結果との継続性は必要とせず、解析内容が変更になることによる評価への影響はありません。
3	仕様書「5 業務内容 (1) 現行市公式ホームページの解析」について、「ドメイン内の公開コンテンツ)を対象に、トップページからリンクが有効な全ファイルの解析を行い、ユーザビリティ及びアクセシビリティに関するホームページ全体の集計値を報告する」との記載がありますが、特にアクセシビリティにおいて、この時点での調査報告はどのレベルの調査を想定されていますか。例えば、「JIS 規格における AA 基準を満たしているかどうか」を細かく調査するようなイメージなのか、もしくは総務省提供の「miChecker」などを活用し、簡易的な状況調査を行うレベルなのか、等。イメージされているレベルがあればご教示ください。	アクセシビリティに関しては、現行のホームページにおける課題や問題点が把握でき、仕様書記載の各業務を実施する際の参考情報となるような、また、必要に応じてCMS入替・データ移行前に本市側でページ修正作業等を行うための資料となるような解析、調査報告を期待しています。 上記が必須ということではありませんが、ホームページのリニューアルに有用で、本業務の実施において適当と考えるレベルでの解析、調査としてください。
4	仕様書「5 業務内容 (5) 仕様書案の作成」について、「JIS X 8341-3:2016 を満たすためのウェブアクセシビリティの要求事項を取りまとめた対応基準書」が示されていますが、貴市が想定される本書の構成・内容についてご教示ください。例えば、miChecker の付属文書「miChecker 達成基準	CMS入替業者に提示するためのもので、どのようなアクセシビリティ基準を満たすべきかを取りまとめた、仕様書案を補足するような内容を想定しています。構成については、具体的な想定はありません。また、miChecker の付属文書を超えて記すべき内容があるかどうかについて指定はありませんが、本基準書は、JIS

	別活用法」を超えて記すべき内容がありますでしょうか。	X 8341-3 の改正動向を踏まえることとしているため、関係する WCAG の最新バージョンなどの内容を含めたものとする可能性などがあります。
5	仕様書「5 業務内容 (8) 定例会議への出席、会議資料の確認等」に関して、定例会議はオンライン形式でも問題ないでしょうか。	ここで示す定例会議は、CMS 入替業者が開催をすることを想定しておりますが、同席に関しては、オンライン形式でも問題はありませぬ。
6	仕様書「6 想定スケジュールおよび参考資料」に記載のアンケート調査について、以下の点をお尋ねします。 1. 利用者向けアンケートの回答者属性（札幌市民のみを対象とするかや対象人数、アンケート手段） 2. 札幌市職員向けアンケートの回答者属性（区役所や指定管理者を含むかや、対象人数、アンケート手段） 3. 札幌市職員向けアンケートの設問（ホームページそのものに対してのみか、CMS に対する設問を含むか）	1. 対象は札幌市民に限りませんが、市公式ホームページでモニター募集を行った上で実施をすることや、札幌市ホームページに対する意見要望等などに関する設問が多くなることから、札幌市民が大半を占めることが想定されます。対象人数は、100 名程度を予定しており、市公式ホームページ上での Web アンケート形式で実施します。 2. 市職員を対象とし、指定管理者は含みません。イントラ環境での Web アンケートを予定しているため、イントラ利用が可能な全職員を対象に回答は任意として実施する予定です。 3. ホームページそのものと CMS、両方の設問とする予定です。
7	別紙 2 の解析一覧において、次の点について集計する内容と目的が不明な項目があります。それぞれご教示いただけないでしょうか。 ①代替テキストの「代替テキスト不十分の可能性大」とは何を指しているのでしょうか。JIS X 8341-3:2016 の達成基準と達成方法いずれにもそのような曖昧な内容はないため、何を指しているのか不明です。 代替テキストは、ページではなく画像に付与されるテキストです。なぜページ数だけを集計するのでしょうか。 ②構造化の「構造化不十分の可能性大」とは何を指しているのでしょうか。JIS X 8341-3:2016 の達成基準と達成方法いずれにもそのような曖昧な内容はないため、どのような状態を指しているのか不明です。 ③特定用語の使用における「外来語」ですが、令和 4 年に文化庁で建議された「公用文作成の考え方」では問題のある用	別紙 2 の解析結果は、あくまで過去の本市ホームページの状況がわかる参考資料として、参加を希望される事業者提供すべき前提情報として公開しているものであり、同じ項目・内容の解析を必須としておりませぬ。 ①～④のご質問ですが、あくまで過去の解析実施事業者の設定によるものです。

	<p>語とはされていません。また、外来語を取り上げるのであれば、並列して扱われている「法令・公用文特有の用語」「専門用語」も合わせて集計したほうがよいと思われます。外来語のみを取り上げる理由は何でしょうか。</p> <p>④特定用語の使用における「機種依存文字を含むページ数」ですが、文字コードにUTF-8を用いているならそもそも機種依存文字が存在しません。これは何を指しているのでしょうか。</p>	
8	<p>別紙2のファイル解析は特定企業が行ったものと見受けられますが、一般的にアクセシビリティの検証とユーザビリティの検証は集計を伴う定量調査ではなく定性調査が主な作業です。そのため、この業務内容は特定企業固有の特殊な業務のように見受けられます。この業務を行うことで期待されている効果と中間成果物を教えていただけないでしょうか。</p> <p>また、このような特殊な業務を仕様を含めることは、特定企業のみが応札に有利になるようにも見受けられますが、公平性はどのように担保されるのでしょうか。</p>	<p>アクセシビリティやユーザビリティに問題があるページがどの程度存在するかなどの量的情報を把握することは、リニューアルに係る工数の把握や現状のホームページの改善に有用であり、ファイル単位の解析・調査結果を用いて、問題があるページの修正等を効率的に行うことができると考えます。</p> <p>上述のとおり、本業務では、別紙2と同内容の解析は必須としておらず、具体的な解析方法や解析項目に関しては、企画提案者が必要と考える内容について提案を受け、評価するものであり、特定企業に有利になるとは考えておりません。</p>
9	<p>現状使用しているCMSが何かをご教示ください。</p>	<p>「CMS-8341/やさしい」です。</p>
10	<p>企画提案書はA4またA3サイズとあるが、ページ数には制限はないでしょうか？</p>	<p>制限はありませんが、ヒアリング審査での説明時間（15分）にある程度対応するボリュームとしてください。</p>
11	<p>企画提案書の正本及び副本について、両面印刷で提出を予定しておりますが、問題ないでしょうか。</p>	<p>問題ありません。</p>
12	<p>企画提案書の副本について、インデックスシールを使用することに問題ないでしょうか。</p>	<p>問題ありません。</p>
13	<p>請求については、履行期間終了の令和9年3月31日に一括しての請求となりますでしょうか？もしくは年度ごとに分割してご請求は可能でしょうか？</p>	<p>年度ごとの請求、支払いを予定しております。</p>